



経営管理研究科長

横山 祢徳

Yoshinori Yokoyama

ビジネスとマネジメントの語源を調べてみると、ビジネスは「気遣い」、マネジメントは「馬を馴らす」、「何とかうまく扱う」という意味から始まったそうです。日常的に我々が行っている行動そのものですね。ということは大学や大学院で通常扱うような学問ではなく、「身体知」というべきものです。

頭で分かっただけでは十分でなく、体で理解し行動を伴うことが必要です。そして、明らかに賢い、センスのいい、そして人々が納得してくれるやり方があります。このようなやり方は「身体知」としての高度スキルを活用します。そういう高度スキルを訓練の継続を通じて身につけていくところがHBMSという「場」なのです。

図らずもこの「場」に参画することで、予想もしなかった新しい考え方、見方、やり方に出会うことになるはずです。そして、もっと大事なことは、HBMS以外では決して知ることのなかった人々に出会うことになるでしょう。HBMSは、このような新しく刺激的な「出会い」の場であり続けたいと思っています。

■専門分野

戦略マネジメント、社会システム・デザイン、組織デザイン、ファイナンス、M&A

■学歴・職歴

東京大学工学部建築学科卒
ハーバード大学院都市デザイン修士、MITスローン大学院MBA
マッキンゼーアンドカンパニー東京支社長

■主要著書

『組織——「動ける組織」のデザイン 25 のポイント』2020年、『社会システム・デザイナー組み立て思考のアプローチ』2019年、『デザインする思考力』2014年



ビジネス・リーダーシップ専攻長／教授

江戸 克栄

Katsue Edo

我々を取り巻く社会システム及環境は、多様にかつ急激に変化してきています。この変化に適応していくためには、新しい視点でビジネスや事業の発想をしていかなければなりません。

グローバル社会による「世界と日本」、地方創生における「都市と地方」、市場経済社会が生み出した「企業と消費者」、経営戦略や企業競争の結果としての「勝ちと負け」、製品やサービスの「品質と価格」。これらの2つの対立軸やトレードオフ関係は、今までのマネジメントでは当たり前のように使われてきました。「個人と組織」もその1つです。これからの時代は、「個人価値」や企業を含めた「組織価値」から第3の軸である「地域や社会の共有価値(コモンズ価値)」への転換が求められるようになってきています。

HBMSはこのような時代の中で、イノベーションにより常に第3の軸を追求し、新しい価値をコモンズ価値へと発展させることができるリーダーを育成することを目指し、多くの分野からの学生のためにプログラムを提供します。

■専門分野

マーケティング、マーケティング・リサーチ、地域ブランディング、防災マーケティング

■学歴・職歴

慶應義塾大学商学部卒業 慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了
慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学
文化女子大学(現文化学園大学)専任講師、准教授を経て、教授

■主要著書・論文

『循環するファンション—新しいデザインへの挑戦—』文化出版局、2013年(共同監訳・監修)、『戦略的マーケティング:レビュー、体系、ケース』芙蓉書房、2008年(部分執筆)



教授 安達 巧

Takumi Adachi

■専門分野

アントレプレナーシップ、イノベーション・マネジメント、コーポレートガバナンス、企業法

■学歴・職歴

博士(経済学、東北大学) & 修士(法学、東北大学)。会社及びコンサルティング事務所経営等を経て現職

■主要著書

『コーポレートガバナンスと監査と裁判所』ふくろう出版、2014年、単著。日本図書館協会選定図書
『コンプライアンス・ハラスメント事例研究一』ふくろう出版、2018年(編著・共著)
『不正会計とわが国の投資家保護』ふくろう出版、2020年(単著)
『アントレプレナーシップと戦略経営—ビジネススクールでの実践—』ふくろう出版、2021年(監修・共著)

一般事業会社経営(代表取締役社長)や税理士資格も活かした経営コンサルティング事務所経営(代表)の経験があり、経営「現場」(実務)に通じています。また、法律にも詳しいです。実効あるコーポレートガバナンスやコンプライアンスがイノベーションを促進する役割を果たすことを熟知したうえでイノベーション人材(アントレプレナー)育成を行っています。



教授 遠藤 邦夫

Kunio Endo

■専門分野

病院及び薬局経営、医薬品流通、製薬産業

■学歴・職歴

矢野経済研究所入社
文部省統計数理研究所委託研究員を兼務
矢野経済研究所ライフサイエンスユニットフェロー

■主要著書・論文

『看護経済学』法研(2002年9月、共著)
その他、矢野経済研究所から医療等に関するレポートを多数執筆

医療について川上(行政)から川下(医療機関、薬局など)までで生じている変化を調査・分析し、そこで活動を行っているさまざまなプレーヤーにどのような影響を及ぼすのか。さらには、その変化に対してどのような対応策を講ずることが有効なのなどなどを研究しています。また、実際に医療関連企業などに対してコンサルティングを行っており、実践的な経営戦略の最新の情報を基に研究を進めています。



教授 木谷 宏

Hiroshi Kitani

■専門分野

人的資源管理論、ダイバーシティ・マネジメント、経営組織

■学歴・職歴

東京大学経済学部経済学科卒業 ジョージ・ワシントン大学大学院公共政策研究科修士課程マークティング専攻修了(MBA) 中央大学大学院総合政策研究科博士後期課程総合政策専攻単位取得退学 博士(経営学、麗澤大学) 食品企業 経営企画部長 学習院大学経済学部特別客員教授 麗澤大学経済学部教授を歴任

■主要著書・論文

『「人事管理論」再考 多様な人材が求める社会的報酬とは』生産性出版、2016年
『ビジネスキャリア検定標準テキスト 人事・人材開発2級』社会保険研究所、2014年(監修)

人事管理論(または人的資源管理論、人材マネジメント論)は経営学において模索を続ける比較的新しい研究領域です。組織の視点による「働きかせ方」と個人の視点による「働き方」を結び付け、変化し続ける社会における「働くこと」の意義とあり方に焦点を当てた研究を行っています。